



第7回大学図書館学生協働交流シンポジウム

ミライ
図書館がきりひらく航路

－悩み解決・つながり強化－

2017.9.5(火)～6(水)

愛媛大学 城北キャンパス

目次

プログラム全体	p.1
会場案内	p.2
振り返り記録／オリエンテーション	p.3
ワークショップ	p.4
ポスターセッション	p.7
事前アンケート回答	p.8



ミライ

図書館がきりひらく航路

-悩み解決・つながり強化-

全国各地の大学図書館で盛んになっている学生協働。

でも、現場では悩みもあるし、新しく始めようにも不安がいっぱい…。

それなら、これまで取り組んできた図書館も、これから始める図書館も集まって、みんなで悩みや不安を話し合ってみませんか？一緒に学生協働のミライをきりひらきましょう！

プログラム

1日目		
9:00-9:50	受付	総合情報メディアセンター1階 メディアホール
10:00-10:30	開会・挨拶	
10:30-11:50	オリエンテーション	各プログラムについての説明 自己紹介(班ごと) 悩み・考え共有(班ごと)
12:00-13:30	ランチミーティング (交流会)	大学会館2階 リーセス
13:50-16:05	ワークショップ	ワークショップについての説明 話し合い(班ごと) 全体共有
16:15-	図書館見学	総合情報メディアセンター1階 メディアホール 愛媛大学図書館(中央図書館)
2日目		
9:00-9:20	開場	総合情報メディアセンター1階 メディアホール
9:20-	ポスターセッションについての説明・記念撮影	
9:30-11:20	ポスターセッション	大学会館3階 305-1・305-2
11:30-11:40	閉会	総合情報メディアセンター1階 メディアホール
11:45-	図書館見学	松山大学図書館

主催 中国四国地区大学図書館協議会

実行委員会 愛媛大学図書館

松山大学図書館

愛媛県立医療技術大学図書館

共催 山口県大学図書館協議会

後援 島根県大学・高等専門学校図書館協議会

愛媛地区大学図書館協議会

会場案内：愛媛大学城北キャンパス

松山大学図書館

9/6 図書館見学

大学会館

9/5 交流会
(2階 リーセス)
9/6 ポスター
セッション
(3階 305-1・305-2)

共通講義棟A

9/5 ワークショップ
前半
(3階 A31・A32)

メディアホール

(総合情報メディアセンター1階)

9/5 受付・開会
9/5 オリエンテーション
9/5 ワークショップ後半
9/6 閉会

愛媛大学

図書館(2階~4階)

9/5 図書館見学

☆荷物置き場

※9/5-6両日

メディアホール内に荷物置き場を設けます。
トランク等大きな荷物の一時置きにご利用ください。

会場移動の際、メディアホールは施錠します。
荷物は置いたままでもかまいません。
ただし、貴重品はお持ちください。

☆ウェルカムテント

※9/5のみ

ウェルカムテントを設けています。

会場がわからないときなど、
お気軽にお立ち寄りください。

伊予鉄 市内電車
赤十字病院前(JR松山駅方面)

伊予鉄 市内電車
赤十字病院前(大街道方面)



振り返り記録

シンポジウムの始まる前、1日目、2日目、と自分の気持ちを振り返って、記録に残してみませんか？ 気持ちの変化、学びや気づきなどを記すことで、ミライの自分の『宝物』になります。

始まる前に

1日目を終えて

2日目を終えて



オリエンテーション

まずは、自分が何に悩んでいるか、どういうことを話したいか、書き出して他のメンバーと共有しましょう！

- A.悩んでいること
- B.現状はどうなのか（できていないこと、止まってしまっていること…etc）
- C.今の時点でもできていること
- D.未来のありたい姿（こんな状態になっているのが理想、こんな風になりたい…etc）

ポイントは、単語ではなく、できるだけ“文章”または“疑問文”で書き出すことです。文自体は短くても構いません。主語＋動詞でまとめてみましょう。

例) △「コミュニケーション」 ○「コミュニケーションの難しさ」
◎「コミュニケーションが難しい」 ◎「コミュニケーションをうまくとるには？」



ワークショップ

ワークショップでは、学生・職員ごとに、「悩み」別の班に分かれて話し合います。

「悩み」は、これまで活動を行ってきて突き当たっている壁、これから先活動を行う上で抱えている不安など、人によって様々です。そんな「悩み」を共有することで、一步踏み出せることがあります。また、他大学の工夫は？解決策は？どのようなアプローチができるか？など、みんなです話し合うことで道が見えてくることもあります。これまでやりあぐねていたことでも、今行っていることでも、これからやりたいことでもOK！

みんなでミライをきりひらくアイデアを出し合いましょう！

「悩み」について

ワークショップの「悩み」カテゴリ(班分け)は次のとおりです。

学生	教職員
1.士気	1.学生とのコミュニケーション
2.情報共有	2.活動の継続
3.広報(図書館外での)	3.学生の自主性
4.企画・活動・団体	4.学生のモチベーション
5.図書館の利用	5.広報・周知
6.図書館への要望	6.役割分担
7.その他	7.その他

進め方についての提案&アイデア絞り込みの航海図(ヒント)

進め方は各班の自由ですが、今回は、一步でも悩み解決に踏みだし、ミライへつなげるための話し合いの『航路』として、A、Bの2つの進め方を提案します(次ページ以降参照)。この2つは相互に関係もしているため、時間に余裕がある場合は、2つとも行っても大丈夫です。

※もちろんこの2つ以外の進め方でもOK!ただ、どんな進め方でも、このワーク内で何を決めたいか、どこまで進みたいか「ゴール」を設定して進めるといいですよ。

航海図① 取り組みやすさ×効果の大きさ	航海図② 評価軸×重要度×3段階評価				
	※評価軸は各班で設定	アイデアA	アイデアB	アイデアC	アイデアD
	例) 効果	3(大)	2(まあまあ)	1(薄)	3(大)
	例) 費用	3(安い)	1(高い)	2(平均的)	1(高い)
	例) 手軽	3(手間なし)	3(手間なし)	2(やや手間)	1(手間)
	総合点	9	6	5	5

進め方A. 『原因は何だ!?!』 ー原因分析の航路

STEP1

問題を認識する：今回話し合う悩み（メインテーマ）を決める

- 1-1 話し合いたい悩み・できていないこと等について一人あたり数個書き出す
※オリエンテーション時に書き出し済
→ 班で共有
→ 意見ごとにグループ分けし、名前をつける。
※グループ名はなるべく、単語ではなく、「主語＋述語」の一文で作成すること。
※グループが作れないものは、無理にグループに入れなくてよい。
→ どれについて話し合うか決める

STEP2

原因を分析する：メインテーマを問いの形に仕立て直す

→ 課題「何が（メインテーマ）の原因なのか」

- 2-1 メインテーマの原因として考えられるものを書き出す。
※書き出すときの方法はSTEP1と同様

STEP3

原因の仮説を立てる：仮設定した原因を、問いに当てはめる

- 課題「何が（メインテーマ）の原因なのか」
→ 仮説「もしかしたら原因は（仮設定した原因）だからではないか？」
※仮説は複数あってもよい。複数ある場合はそれぞれについて下記項目を書き出す。

- 3-1 仮説の根拠（なぜその仮説を立てたのか）として考えられるものをまとめる
3-2 仮説を確かめるために行うこととして考えられるものを書き出す
3-3 3-2の情報収集方法として考えられるものをまとめる

課題	仮説	仮説の根拠	分析する（仮説を確かめるために行うこと）	分析のための情報収集方法
例) イベントの認知度が低い原因は何か?	例) 仮説①イベントの広報範囲が狭いからではないか?	例) 図書館内ではか広報していないから	例) イベントに来てくれた人がどこで知ったかを確認する	例) アンケートインタビュー

MORE STEP

打ち手を考える：判明した原因をもとに打ち手のアイデアを考えよう

※本来は情報収集・分析後のSTEPですが、シンポジウム内では情報収集を行う時間がないので、このSTEPは「仮説が正しかった」という前提で行ってください。

「原因は（仮設定した原因）だった」

→ 打ち手「それでは（仮設定した原因）はどのようにしたら解決できるか」

- M-1 打ち手のアイデアを幅広く書き出す
※書き出すときの方法はSTEP1と同様
- M-2 打ち手を選択する
※絞り込みの際は、前ページの『絞り込みの航海図(ヒント)』も参照
- M-3 実行までの段階を細かくリストアップし、実行プランを作成する
例) いつやるか（時期、タイミング、頻度、…etc）／どこでやるか／誰がやるか／
どうするかたちでやるか（内容・方法）／なぜやるか（理由）

進め方B. 『ミライに近づこう』－目標設定の航路

STEP1

ミライを仮設定する：今回話し合う「未来のありたい姿」（メインテーマ）を決める

- 1-1 話し合いたい「未来のありたい姿」等について一人あたり数個書き出す
※オリエンテーション時に書き出し済
→ 班で共有
→ 意見ごとにグループ分けし、名前をつける。
※グループ名はなるべく、単語ではなく、「主語＋述語」の一文で作成すること。
※グループが作れないものは、無理にグループに入れなくてよい。
→ どれについて話し合うか決める

STEP2

現状とのギャップを認識する：現状と対応させる

- 2-1 「現状はどうなのか」「今の時点でもできていること」を書き出し、
メインテーマと対応させる
※オリエンテーション時に書き出し済。新規に書き出すときの方法もSTEP1と同様
- 2-2 現状・今の時点との『差』を埋めるためのアイデアを幅広く書き出す
※書き出すときの方法はSTEP1と同様
※できるだけ具体的に書き出すこと
例) △ SNSを使う ○ Twitterを使う ◎ Twitterで団体のイベントを定期的に広報する
- 2-3 打ち手を選択する
※絞り込みの際は、前ページの『絞り込みの航海図(ヒント)』も参照



STEP3

ミライの仮説を立てる：メインテーマを問いの形にし、アイデアを仮説として当てはめる

- 課題「どうしたら（メインテーマ）が実現できるか」
→ 仮説「（アイデア）すれば実現できる」
※仮説は複数あってもよい。複数ある場合はそれぞれについて下記項目を書き出す。
- 3-1 仮説の根拠（なぜその仮説を立てたのか）として考えられるものをまとめる
3-2 仮説を確かめるために行うこととして考えられるものを書き出す
3-3 3-2の情報収集方法として考えられるものをまとめる

課題	仮説	仮説の根拠	分析する（仮説を確かめるために行うこと）	分析のための情報収集方法
例) イベントが大学全体に広く知られている状態を実現するには？	例) イベントの広報範囲を広げれば実現できる	例) 現在の広報範囲(図書館内)では狭いと思われるため	例) イベント告知にどのような広報手段があるのか、またその範囲を調べる	例) リサーチ> 他団体、図書館員、教員、同級生、他のイベント…

- 3-4 実行までの段階を細かくリストアップし、実行プランを作成する
例) いつやるか（時期、タイミング、頻度、…etc） / どこでやるか / 誰がやるか / どういうかたちでやるか（内容・方法） / なぜやるか（理由）

MORE STEP

実行後、振り返ろう：仮説を検証して、ミライへ活かそう

※本来は実行プランに沿って実行した後、仮説が正しかったか、有効だったかどうか振り返るSTEPですが、シンポジウム内では実行までを行う時間がないので、このSTEPは「実施後、どういう状態だったら、仮説が正しかったといえるのか」ということを考えてみてください。



ポスターセッション

今回のポスターセッションでは、活動紹介、未来への宣言、振り返り、という3つのテーマを設けました。他大学の事例や発表から、自分たちの活動へのヒントを探りましょう！また、会場では、活動している学生や担当者に直接尋ねることもできます。気になることはぜひ聞いてみて、悩みへのヒントを入手したり、活動仲間としてのつながりを創ったりして、この場を<ミライ>へつなげるのに役立ててください！

テーマについて

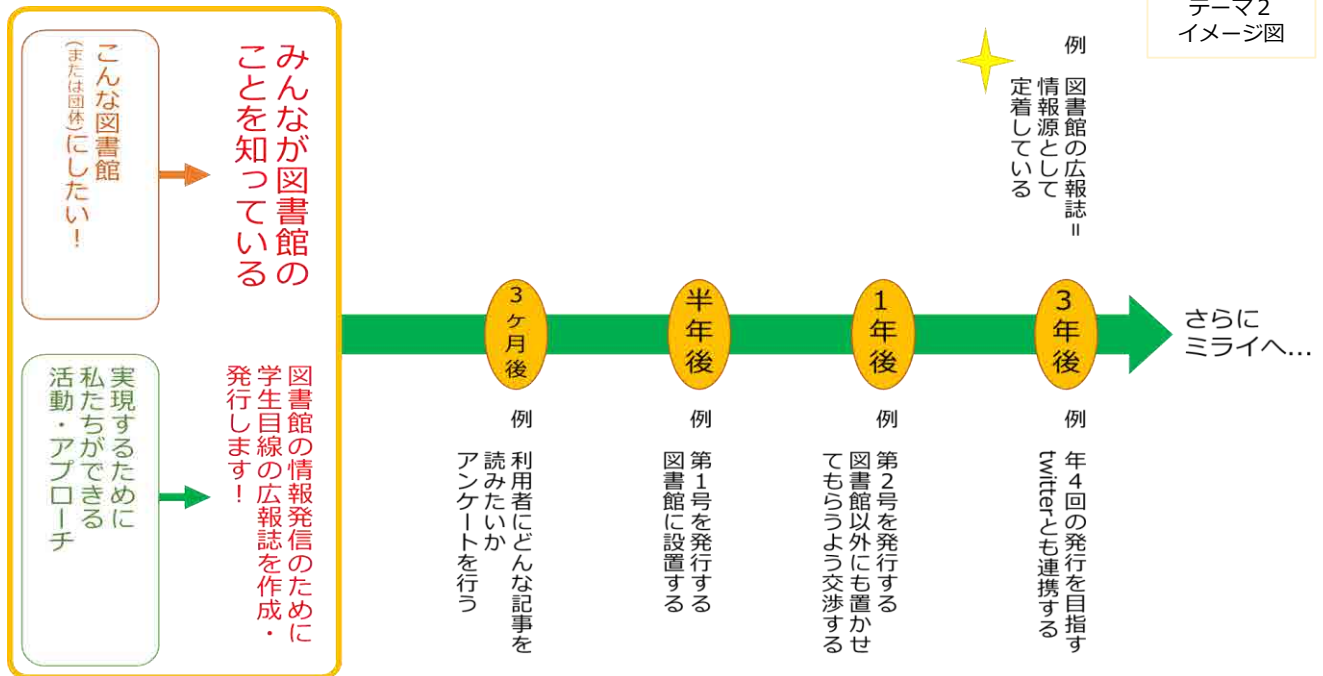
ポスターセッションのテーマは、次の3つです

テーマ1：教えて！みんなの図書館と団体「わたしたちは〇〇です！」

自分たちの図書館と自分たちの団体の(特色)を紹介します。
どんな活動をしているかだけでなく、いいところや改善したいところ、今後どうしていきたいかも振り返ります。

テーマ2：理想の図書館に向けた宣言「理想の図書館のために〇〇〇します！」

自分たちの理想の図書館像(どんなふうにしていきたいかという未来の姿)を描き、その実現のために自分たちができる活動やアプローチを考え、宣言します。
3ヶ月後、半年後、1年後・・・など、「目標の達成時期」も一緒に設定します。



テーマ3：振り返ろう、シンポジウム。「楽しかった！」のその先へ

これまでのシンポジウム(第1回～第6回、2011年-2016年)に参加した後、自分たちの団体または活動にあった変化や影響を発表します。取り入れたいと思ったこと、実際に行ったこと(その効果や実感)、まだ行ってないけれどしてみたいと思っていること、さらに、こんなシンポジウムがあったらいいな、などの希望を語ります。



事前アンケート回答

※敬称略 五十音順

宇部フロンティア大学	p.9	島根県立大学浜田キャンパス	p.24
愛媛大学	p.10	就実大学・就実短期大学	p.25
愛媛県立医療技術大学	p.11	中部大学	p.26
大谷大学	p.12	東京大学	p.27
沖縄国際大学	p.13	徳島大学	p.28
香川県立保健医療大学	p.14	鳥取大学	p.30
鹿児島大学	p.15	梅光学院大学	p.31
北九州市立大学	p.16	広島大学	p.32
近畿大学	p.17	広島工業大学	p.33
熊本学園大学	p.18	広島修道大学	p.34
県立広島大学	p.19	福山大学	p.35
神戸市外国語大学	p.20	松山大学	p.36
高知県立大学	p.21	山口大学	p.37
島根大学	p.22	立命館大学	p.39
島根県立大学短期大学部松江キャンパス	p.23		

※30館中28館から回答をいただきました。
ご協力いただいた館のみなさま、ありがとうございました。



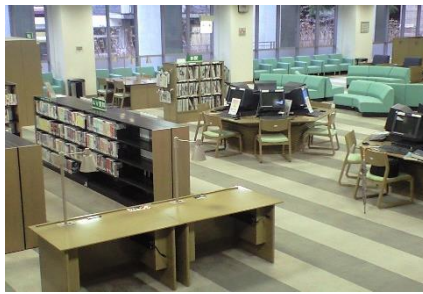
1	大学名	宇部フロンティア大学附属図書館				
2	団体名	Li-Fro(リフロ)				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		19名	男性9名 女性10名	1年4名 2年1名 3年3名 4年10名	福祉心理学科13名 看護学科 5名	学部生18名 院生1名
4	新規メンバー募集(獲得)方法	掲示板を利用してポスターで広報する。新1年生対象の部活紹介に参加して呼びかける。イベント参加者に声をかけて参加者を随時募集している。				
5	活動開始年(西暦)	2014年				
6	活動頻度	不定期。各々が活動できる時間を利用して行う。				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	ビブリオバトル、ブックハンティング、講師を招いてワークショップの開催、個人展示、レポートの書き方ワークショップ				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	ビブリオバトルの開催				
9	団体の雰囲気	落ち着いている				
10	団体を漢字一文字で表すと？(理由も添えて)	漢字	理由			
		協	他学年や他学科、教員や職員と交流をしながら、協力して図書館活動を行っているから。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	協力体制が出来ている。苦手なところを補い合う雰囲気が伝統的に培われている				
12	担当職員数	3名(職員は3名であるが、館長、運営委員の教員のご協力を得ている)				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	有				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	日常の活動は、無償。シンポジウム参加や、イベント開催等に学生負担金の無いように調整を行っている。				



1	大学名	愛媛大学				
2	団体名	図書館サポーター (LS : Library Supporters)				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		22人	男：5人、 女：17人	1回生：5人 2回生：6人 3回生：8人 4回生：3人	法文：17人 社会共創学部：2人 工学部：1人 理学部1人 教育学部：1人	学部生：22人 院生：0人
4	新規メンバー募集(獲得)方法	SCV合同説明会、LS新歓				
5	活動開始年(西暦)	2005年				
6	活動頻度	週1回の図書館活動と、週1回のミーティング				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	館長との座談会、1回生企画、学生祭での企画及び展示、月刊ひよこの発行、おすすめ本展示				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	学生祭での企画及び展示				
9	団体の雰囲気	ほのぼのと、協力してやる				
10	団体を漢字一文字で表すと？(理由も添えて)	漢字	理由			
		和	和やかな雰囲気で活動しているから			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	LSのマスコットキャラクターのひよこを全員が描けること、メンバーが仲良し				
12	担当職員数	1				
13	担当職員の学内での所属(図書館がそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館事務課 調査企画チーム				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	図書館・・・選書用予算のみ有、大学・・・有				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	無償				



1	大学名	愛媛県立医療技術大学				
2	団体名	図書館サポーター				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・院生内訳
		9人	女子9人	2年3人 3年6人	保健科学部9人 (看護学科5人、 臨床検査学科4人)	学部生9人
4	新規メンバー募集(獲得)方法	掲示板・HPでの広報、口コミ、図書・学術委員の教員による授業等での呼びかけ、図書館サポーターによる授業前後での呼びかけ				
5	活動開始年(西暦)	2015年				
6	活動頻度	年数回				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	ブックハンティング、図書館改善案・図書館への要望、展示のお手伝い				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	ブックハンティング、図書館改善案・図書館への要望				
9	団体の雰囲気	ほんわか				
10	団体を漢字一文字で表すと？(理由も添えて)	漢字	理由			
		楽	楽しんで活動しているから。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	学生どうしの距離がちかい。				
12	担当職員数	2人				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館				
14	※学生協働に関して：予算の有無	なし				
15	※学生協働に関して：有償か無償か	無償				



1	大学名	大谷大学				
2	団体名	学生選書プロジェクト				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		15	3:12	4年生：5名 3年生：3名 2年生：4名 1年生：3名	文学部	院生無し
4	新規メンバー募集(獲得)方法	チラシ置き・配付、ポスター掲出				
5	活動開始年(西暦)	2005年				
6	活動頻度	選書ツアー：年間4~5回 イベント：年間2回程度 ミーティング：適宜開催				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	選書ツアー、学園祭バザー出店、 新入生歓迎会での告知イベント、ミーティング				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	選書ツアー、学園祭バザー出店、 新入生歓迎会での告知イベント、ミーティング				
9	団体の雰囲気	良好				
10	団体を漢字一文字で表すと？(理由も添えて)	漢字	理由			
		本	本好き学生が、本を通じて活動したいと任意に集まっている団体なので。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	活動自体が、本好き学生の居場所になっています。				
12	担当職員数	6名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書・博物館課(学生選書プロジェクト担当)				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	有				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	無償				



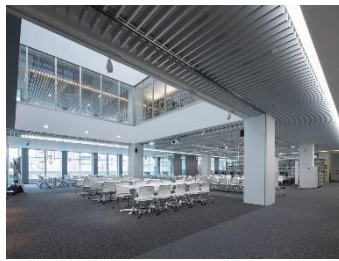
1	大学名	沖縄国際大学				
2	団体名	-				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		-	-	-	-	-
4	新規メンバー募集(獲得)方法	-				
5	活動開始年(西暦)	-				
6	活動頻度	-				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	-				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	-				
9	団体の雰囲気	-				
10	団体を漢字一文字で表すと？(理由も添えて)	漢字	理由			
		-	-			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	-				
12	担当職員数	26名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館(運用係/整理係/総務係/カウンター担当)				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	有				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	有償				



1	大学名	香川県立保健医療大学				
2	団体名	図書サークル ビブリア				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		4名	男 1名 女 3名	3年生 1名 2年生 1名 1年生 2名	保健医療学部 (単科) 看護学科3名 臨床検査学科1名	学部生 4名 院生 0名
4	新規メンバー募集(獲得)方法	・図書館と学生掲示板等にポスターを掲示・新入生図書館ガイダンス時にアピール・新入生歓迎会のサークル紹介時に紹介・担当教職員、サークル員が直接勧誘				
5	活動開始年(西暦)	2014年～				
6	活動頻度	月2回				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	・特集(おススメの本紹介) ・新着コーナーの飾りつけ				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	・特集(おススメの本紹介) ・読み聞かせ講座の開催・第1回選書ツアー				
9	団体の雰囲気	仲が良くて穏やか				
10	団体を漢字一文字で表すと? (理由も添えて)	漢字	理由			
		探	どんなイベントを行うか、どのようにサークルのメンバーを集めるか、どんな形で大学に貢献していくか等、方法や知識、情報を常に「探している」ため。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です!)	・2か月に一回の特集が好評です! ・季節ごとに、新着コーナーの飾りつけをしています!				
12	担当職員数	2名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館 1名・図書委員会(教員) 1名				
14	※学生協働に関して: 予算の有無	学生協働の名目での予算はなし。				
15	※学生協働に関して: 有償か無償か	無償				



1	大学名	鹿児島大学				
2	団体名	鹿児島大学附属図書館サポーター				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		23	男：12 女：11	1年：5 2年：3 3年：9 4年：5 院2年：1	法文学部：11 教育学部：5 工学部：3 医学部：1 農学部：1 水産学部：1 人文社会科学部研究科：1	学部生：22 院生：1
4	新規メンバー募集(獲得)方法	募集ポスターの掲示、フェイスブック・ツイッター・HPでの募集、勧誘				
5	活動開始年(西暦)	2015年				
6	活動頻度	週1回のミーティング、各イベント時				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	キックオフミーティング、図書館長との懇談会、学生選書ツアーへの参加、企画展示(福袋やクリスマスなど)、ビブリオバトルの開催				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	図書館サポーターが主体的にする活動としては、全国大学ビブリオバトルの予選会の開催				
9	団体の雰囲気	意見が言いやすい雰囲気				
10	団体を漢字一文字で表すと? (理由も添えて)	漢字	理由			
		和	常に皆で協力し合って、イベント等実施しているため			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です!)	人数が多い。学部1年から院生まで幅広い学年が集まっている。下の学年も意見を言いやすい。個性が色々集まっている。				
12	担当職員数	14名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	鹿児島大学附属図書館・学術情報部情報サービス課				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	予算有				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	無償				



1	大学名	北九州市立大学				
2	団体名	図書館サポーター				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		13人	男子:2人 女子:11人	4年:2人 3年:2人 2年:6人 1年:3人	文:8人 法:2人 外国語:2人 経済:1人	学部生:13人 院生:0人
4	新規メンバー募集(獲得)方法	4~5月にかけて、図書館内で活動の様子を見せながら勧誘活動を行っています。また、同時期に行っている図書館ツアー内でも紹介、募集を行っています。				
5	活動開始年(西暦)	2010年				
6	活動頻度	4つの班に別れ、各班月に2回程度活動を行っています。				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	サポーターだよりの発行・オープンキャンパスイベントの企画運営・全国大学ビブリオバトルへの参加・選書ツアー				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	オープンキャンパスイベントの企画運営・全国大学ビブリオバトルへの参加				
9	団体の雰囲気	和気藹々とした雰囲気です。				
10	団体を漢字一文字で表すと？(理由も添えて)	漢字	理由			
		柔	様々な活動に柔軟に取り組んでくれていますが、核や芯となるものがまだ伴っていないところもあるので、職員の指示がなくても柔軟に芯を持って活動できればと思いこの漢字にしました。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	学年・学部を問わず、班の垣根を越えて楽しく仲良く活動を行っているところです。				
12	担当職員数	4人				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	無				
15	※学生協働に関して： 有償が無償か	無償				



1	大学名	近畿大学(中央図書館)				
2	団体名	APRICOT CONCIERGE				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		41	男/14人 女/27人	4年/ 6人 3年/ 9人 2年/26人	文系/37人 理系/4人	学部生のみ
4	新規メンバー募集(獲得)方法	できたばかりのため、まだ募集していませんが希望者がいれば随時。 1年生がいないので、10月ごろに大きく募集をしたいと考えています。				
5	活動開始年(西暦)	2017年				
6	活動頻度	授業の空き時間を利用して随時				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	今年できたばかりのためなし				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	2017年4月に新設されたビブリオシアター(新図書館棟)内の黒板に 資料紹介を書いたり、資料に関連したイベントの企画を行っています。				
9	団体の雰囲気					
10	団体を漢字一文字で表すと？(理由も添えて)	漢字	理由			
		梅	学園章の梅にちなんだ団体名「APRICOT CONCIERGE」 (アプリコット コンシェルジュ) より			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	ビブリオシアターオープン前の配架準備や段階から アルバイトとして参加してくれていたメンバーもいます。				
12	担当職員数	3人				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	中央図書館 収書・整理課 (ビブリオシアター運営ワーキンググループ)				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	中央図書館の予算から執行				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	無償				

※ポスターセッション（掲示）のみ参加

※写真はポスターにて紹介

1	大学名	熊本学園大学				
2	団体名	学生コンシェルジュ				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		3	男子1 女子2	4年生	経済学部 外国語学部 社会福祉学部	学部生のみ
4	新規メンバー募集(獲得)方法	図書館の学生アルバイト生への声かけ（3年次の秋学期頃）				
5	活動開始年(西暦)	2013年				
6	活動頻度	月1回				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	読書会、ビブリオバトル、展示など				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	読書会				
9	団体の雰囲気	和やか				
10	団体を漢字一文字で表すと？（理由も添えて）	漢字	理由			
		慮	メンバー同士で思いやること、利用者のことを思って活動することを大切にしているから。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	それぞれが自分の意見をしっかり持ち、主張することができる。				
12	担当職員数	1名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書情報課				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	無				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	有償				



1	大学名	県立広島大学				
2	団体名	学修支援アドバイザー（広島キャンパス）				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		12	男：2 女：10	3年：3 4年：6 M1：1 M2：2	人間文化：8 経営情報：4	学部：9 院生：3
4	新規メンバー募集(獲得)方法	主管課（他部署）がまとめて募集、研修している。				
5	活動開始年(西暦)	新制度 2年（+旧制度 3年）				
6	活動頻度	不定期				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	定期試験相談会				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	定期試験相談会				
9	団体の雰囲気	静か				
10	団体を漢字一文字で表すと？（理由も添えて）	漢字	理由			
		直	実直、真っ直ぐ、素直			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	優秀で真面目な学生が揃っています。				
12	担当職員数	2（図書館担当）				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	学術情報課（図書館担当） ※制度全体の担当は学内の他部署				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	図書館ではなし				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	有償				



1	大学名	神戸市外国語大学				
2	団体名	ラーニングアドバイザー(略称:LA)				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		5名	男子1名 女子4名	修士1年1名 修士2年3名 博士1年1名		院生5名
4	新規メンバー募集(獲得)方法	学内掲示(図書館・院生掲示板)				
5	活動開始年(西暦)	2014年10月				
6	活動頻度	各LA週1回2時間				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・サポートデスクでのライティング支援等 ・おすすめ資料の展示 ・パスファインダー(テーマ別調べ方ガイド)の作成 				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・イベント(LAの専門分野に関するトークイベント・ライティングワークショップ) ・LA通信(図書館Facebook内でのリレー連載。個人連載を持つLAも) 				
9	団体の雰囲気	各自が個性を発揮して、さまざまな活動を展開しています。				
10	団体を漢字一文字で表すと? (理由も添えて)	漢字	理由			
		支	学部生の先輩として、学習を支えていることから。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です!)	多言語対応(日・英・中・西等)。すべてのLAが2言語以上対応可。				
12	担当職員数	主担当1名、副担当1名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館				
14	※学生協働に関して: 予算の有無	有				
15	※学生協働に関して: 有償か無償か	有償				



1	大学名	高知県立大学				
2	団体名	図書館サークルLib				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・院生内訳
		4	男性：1 女性：3	1回生：3 3回生：1	文化学部：3 看護学部：1	学部生：4
4	新規メンバー募集(獲得)方法	学内にポスター掲示、図書館HPへの掲載、ポータルサイトで呼びかけ				
5	活動開始年(西暦)	2017年				
6	活動頻度	週1回				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	初めての活動として、ミニ展示が進行中				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	模索中				
9	団体の雰囲気	まだそれぞれに遠慮がある				
10	団体を漢字一文字で表すと？(理由も添えて)	漢字	理由			
		初	4月から活動を始めたばかり。学生も職員も初々しい。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	1回生が中心になっている				
12	担当職員数	2名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書情報部の各キャンパスに1名ずつ				
14	※学生協働に関して：予算の有無	今年はない				
15	※学生協働に関して：有償か無償か	無償				



1	大学名	島根大学				
2	団体名	図書館コンシェルジュ				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		29	男子 12 女子 17	1年生 10 2年生 5 3年生 9 4年生 4 修士 1	法文学部 18 総合理工学部 3 生物資源科学部 8	学部生 28 院生 1
4	新規メンバー募集(獲得)方法	ポスター掲示、ツイッター、フェイスブック、口コミ				
5	活動開始年(西暦)	2010年				
6	活動頻度	週1回ミーティング、月1回職員を交えての定例ミーティング				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	オープンキャンパス企画、広報の発行、季節ごとの館内装飾、テーマを決めての本の展示、読書会、オリジナルグッズ作成				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	オープンキャンパス企画、ラーコモカフェ(本学教職員を招いてトークやディスカッション)、ただ日本語で話すだけ(留学生支援企画)、近隣図書館での絵本読み聞かせ				
9	団体の雰囲気	先輩や後輩、職員の垣根なく様々な事を話し、相談し、雰囲気良く活動できていると思います。更に一人ひとりがしっかり考えて行動することで効率よく活動することを目指しています。				
10	団体を漢字一文字で表すと?(理由も添えて)	漢字	理由			
		「成」	活動を成し、成果を出すことで、団体、また自らも成長しているため。私達は自らを成長させることを意識して企画を行っています。また現在、今年度の方針としてメンバーの仲や知名度を広げることで、活動の幅を広げ団体を成長させようとしています。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です!)	メンバーの半数以上は、コンシェルジュの利用サポート活動のために職員から図書館に関する研修を受けています。そのため学んだ図書館の知識を使い、的確な企画活動につながっています。また、いつもミーティング前の軽いアイスブレイクで楽しくミーティングを行っています。				
12	担当職員数	7名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館職員コアチーム				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	有り。ただし、利用サポート(カウンター業務、館内ツアー)のみ				
15	※学生協働に関して： 有償が無償か	有償。ただし、利用サポート(カウンター業務、館内ツアー)のみ				



島根県立大松江、
浜田キャンパス
学生図書委員との交流会

1	大学名	島根県立大学短期大学部松江キャンパス				
2	団体名	学生図書委員会				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		19人	女子のみ	2年…10人 1年…9人	総合文化学科 …18人 保育学科 …1人（2年）	学部生…19人
4	新規メンバー募集(獲得)方法	募集チラシの配布。オリエンテーション、サークル紹介での呼びかけ。				
5	活動開始年(西暦)	2010年				
6	活動頻度	毎週月曜日にランチ会を開催。その他、ワーキングによって随時。				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	読書マラソン、おはなしマラソン、としょかんクイズ、大学祭出店、読書会、選書ツアー、大学図書館学生協働交流シンポジウム参加、図書館総合展出展、kumori交流会、他キャンパス学生図書委員との交流会、「図書館新聞」発行				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	他キャンパス学生図書委員との交流会、他大学との交流会、大学祭				
9	団体の雰囲気	みんな笑顔、アットホーム				
10	団体を漢字一文字で表すと？(理由も添えて)	漢字	理由			
		楽	みんな楽しく笑顔で活動しているから。「笑」という漢字も候補にありました。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	1年と2年が仲良し!!女子が多い。				
12	担当職員数	2名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	無し				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	無償				



1	大学名	島根県立大学浜田キャンパス				
2	団体名	学生図書委員				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・院生内訳
		7	男性：5 女性：2	1年生：3 2年生：2 3年生：1 4年生：1	総合政策学部：7	学部生7
4	新規メンバー募集(獲得)方法	オリエンテーションでの案内、ビラ配布、館内掲示、学生便覧掲載、ブログ等				
5	活動開始年(西暦)	2009年				
6	活動頻度	定例的活動は2回/月				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	月例会議、月毎のテーマ展示、ビブリオバトル学内予選、読書マラソン (or POPコンテスト)、学生交流シンポジウム参加				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	3キャンパス交流会 (2016年度新規)、一箱古本市出店 (2017年度新規)、しまね大交流会出展 (2017年度新規)、大学祭出展 (2018年度新規)				
9	団体の雰囲気	学年間の距離が近くアットホームな雰囲気です。				
10	団体を漢字一文字で表すと? (理由も添えて)	漢字	理由			
		交	3つのキャンパスそれぞれに図書委員がいます。合同の読書会や親睦会が年に数回あり、色々交流しながら活動しています。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です!)	少数精鋭! 1・2年生の割合が多くフレッシュです!				
12	担当職員数	1~2				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書情報課				
14	※学生協働に関して：予算の有無	有				
15	※学生協働に関して：有償か無償か	無償				



1	大学名	就実大学・就実短期大学				
2	団体名	図書館サポーター				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		32	男2女30	1年10名 2年9名 3年8名 4年5名	人文科学部23名 教育学部5名 短期大学4名	大学生28名 短大生4名
4	新規メンバー募集(獲得)方法	館内掲示、図書館アルバイト募集時、新入生ガイダンス時に勧誘				
5	活動開始年(西暦)	2015年				
6	活動頻度	月2回～5回				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	ブックハンティング、新入生ガイダンススタッフ、図書館セミナースタッフ、 図書館グッズ作成、掲示物作成				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	ブックハンティング、新入生ガイダンススタッフ、図書館グッズ作成				
9	団体の雰囲気	一見おとなしいが秘めた情熱がある				
10	団体を漢字一文字で表すと？(理由も添えて)	漢字	理由			
		挑	新しい企画に積極的に挑戦する姿勢を表現している			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	苦手な分野にも挑戦して自分達を成長させる努力をしています				
12	担当職員数	3名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館事務室				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	有				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	有償のものと無償のものがある				



1	大学名	中部大学				
2	団体名	図書館サポーター				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		14名	男子 7名 女子 7名	3年 (3名) 2年 (4名) 1年 (7名)	工学部1名 経営情報学部2名 国際関係学部2名 人文学部7名 応用生物学部2名	
4	新規メンバー募集(獲得)方法	掲示板及び看板等による公募				
5	活動開始年(西暦)	2017年				
6	活動頻度	展示など大きな企画を行う時は頻度は高くなるが、基本的には2週間に1回程度				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	展示や他大学との交流による情報交換など				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	展示 (テーマは自分がおすすめる珠玉の一冊) * 図書館サポーターの初めての企画で、図書館サポーターの紹介も兼ねました				
9	団体の雰囲気	何事にも真剣に取り組み、自分の意見を発しやすい和やかな雰囲気				
10	新規メンバー募集(獲得)方法	漢字	理由			
		白	私たちは今年から活動が始まったまっさら、真っ白な状態なので、様々な活動、経験を通して、自分たちの「色」をつけていきたいと考えているからです。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です!)	様々な学部からメンバーが集まっているので、多様な意見や発想を持っていて、やる気がある人達が集まっています!				
12	担当職員数	2名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館事務部 図書課				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	有				
15	※学生協働に関して： 有償が無償か	無償				



1	大学名	東京大学				
2	団体名	アカデミックコモンズサポーター（ACS）				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生 院生内訳
		14	男10：女4	学部2年 1名 学部3～4年 7名 修士課程 3名 博士課程 3名	人文社会科学系 10名 理工・生命科学系 4名	学部生 8名 院生 6名
4	新規メンバー募集(獲得)方法	年1回、全学に対して公募し、面談により決定。				
5	活動開始年(西暦)	2013年				
6	活動頻度	月1回定例ミーティングの他、企画により随時				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	図書館の新たな学習・研究支援サービスやイベントをメンバーが企画立案し実行する。				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	東大院生によるミニレクチャプログラム（大学院生が専門分野を他領域の方々に分かりやすく教えるイベント）				
9	団体の雰囲気	意見を出しやすく、新しいことにチャレンジしやすい雰囲気				
10	団体を漢字一文字で表すと？（理由も添えて）	漢字	理由			
		企	ACSは自分たちで課題を発見し解決していく組織で、学生主体で様々な企画を実施しているから			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	新図書館計画に関わることができる、学生視点でアイデアを出し実現させている、多様な学部・研究科の学生と協働する機会となる				
12	担当職員数	4名				
13	担当職員の学内での所属 (図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	附属図書館総務課 2名 工学・情報理工学図書館 1名 経済学図書館 1名				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	学生協働用に予算立てはしていないが、図書館内予算から必要なものを支出している。				
15	※学生協働に関して： 有償が無償か	無償。ただし所属キャンパス外への移動には交通費支給。				



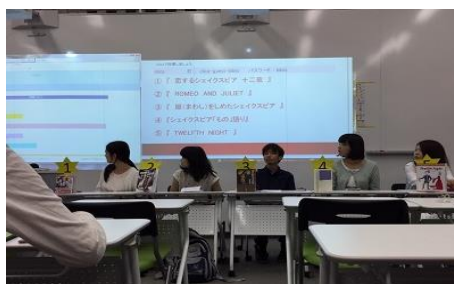
1	大学名	徳島大学				
2	団体名	学びサポート企画部				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・院生内訳
		7人	男：5人 女：2人	4年：1人 3年：2人 2年：1人 1年：3人	総合科学部：2人 理工学部：5人	学部生：7人
4	新規メンバー募集(獲得)方法	新入部員歓迎会、イベントでの広報				
5	活動開始年(西暦)	2014年				
6	活動頻度	週に2回ミーティング、1~2か月に1回イベント開催				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	学習相談スペースである「Study Support Space」の運営				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	学習に関連する新たなイベントの企画・開催				
9	団体の雰囲気	積極的				
10	団体を漢字一文字で表すと？(理由も添えて)	漢字	理由			
		学	団体名にもあり、活動も「学ぶ」ことを支援するという目的で行っているため			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	先生方と関わりながら、少人数で多くのイベントを開催できているところ				
12	担当職員数	図書館職員2人、顧問ほか教員2人				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	学術情報部図書情報課利用支援係				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	予算有(学生支援課からサークル活動費、図書館の学長裁量経費から学習支援アドバイザー謝金、シンポジウム参加費と消耗品費)				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	無償				



1	大学名	徳島大学				
2	団体名	ライブラリー・ワークショップ				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・院生内訳
		6人	女：5人 男：1人	4年：4人 1年：2人	総合科学部：3人 工学部：3人	学部生：6人
4	新規メンバー募集(獲得)方法	ビラ配り、図書館内での広報				
5	活動開始年(西暦)	2010年				
6	活動頻度	週1回のミーティング				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	広報誌の発行、POPコンテストなど				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	新しい活動の企画・開催				
9	団体の雰囲気	和やか				
10	団体を漢字一文字で表すと？(理由も添えて)	漢字	理由			
		拡	図書館の活用や読書の幅を広めてほしいと思って活動をしているから。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	メンバーの意見が通りやすく、新しいことも実行しやすい。				
12	担当職員数	図書館職員2人、顧問教員1人				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	学術情報部図書情報課利用支援係				
14	※学生協働に関して：予算の有無	予算有 (学生支援課からサークル活動費)				
15	※学生協働に関して：有償か無償か	無償				



1	大学名	鳥取大学				
2	団体名	学生図書館ワーキンググループ				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		17名	男性 6名 女性 11名	1年 3名 2年 2名 3年 6名 4年 6名	地域学部 6名 工学部 4名 農学部 7名	学部生 17名 院生 0名
4	新規メンバー募集(獲得)方法	新規メンバー募集のポスター、ビブリオバトル				
5	活動開始年(西暦)	2012年				
6	活動頻度	2週間に1度程度(長期休みの間やクイズラリー等の準備がある際は不定期)				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	選書、ビブリオバトル、展示、ブックハンティング				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	オープンキャンパスと大学の文化祭の際のクイズラリー、福袋				
9	団体の雰囲気	ほんわかと落ち着いた雰囲気				
10	団体を漢字一文字で表すと? (理由も添えて)	漢字	理由			
		和	賑やかな雰囲気よりもどちらかといえば落ち着いた雰囲気のメンバーが多く所属しており、職員の方々にも手を貸していただきながら、時には盛り上がり活動しているため。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です!)	学年や学部が異なるメンバーですが、和気あいあいと活動しています。				
12	担当職員数	5名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	担当職員は全て図書館情報課所属です。図書館情報課長、統括司書、学術情報担当、資料サービス担当 (医学図書館においては医学情報担当が、別に学生協働の取り組みを学生図書委員と行っている)				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	有り				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	無し				



1	大学名	梅光学院大学				
2	団体名	図書館サポーター				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・院生内訳
		20人	男 4人 女 16人	1年 3人 2年 13人 3年 4人	文学部19人 子ども学部1人	学部生 20人
4	新規メンバー募集(獲得)方法	新入生に向けたクラブ紹介の時に、パワポで活動を説明する				
5	活動開始年(西暦)	2005年				
6	活動頻度	週1回 部会 幹部はその前日に部会準備のための部会 月1~2回 放課後の活動 年9回 オープンキャンパスで図書館案内				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	オープンキャンパスで図書館案内・テーマに沿って選んだ本のポップを作り棚作成・ビブリオバトル(運営も含む)・グッズ作り・シンポジウム参加・サミット参加				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	ビブリオバトル・テーマ棚				
9	団体の雰囲気	温かい雰囲気				
10	団体を漢字一文字で表すと? (理由も添えて)	漢字	理由			
		淡	淡々と、しかし着実に実行し、成長してきているから。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です!)	どちらかという大人しい学生が多いですが、この活動を通して成長しようと努力しています。大きな企画も、実現してきました。				
12	担当職員数	2名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館				
14	※学生協働に関して：予算の有無	無し				
15	※学生協働に関して：有償か無償か	無償				



1	大学名	広島大学				
2	団体名	広島大学図書館サポーター HULS (ハルス)				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		21人	男6人 女15人	学部1年 7人 学部2年 2人 学部3年 3人 学部4年 5人 院生 4人	教育学部 7人 理学部 3人 文学部 1人 経済学部 1人 総合科学部 1人 工学部 1人	(詳細左記) 学部生17人 院生4人
4	新規メンバー募集(獲得)方法	図書館ホームページ・広報誌での広報、説明会開催。				
5	活動開始年(西暦)	2015				
6	活動頻度	月1回ミーティング。4ヶ月に1回程度で小展示。年1回で説明会開催、図書館広報誌作成。				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	小展示、図書館広報誌作成、学生協働シンポジウム参加。				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	小展示				
9	団体の雰囲気	学部や学年を超えて意見を出し合う和気あいあいとした雰囲気				
10	団体を漢字一文字で表すと？(理由も添えて)	漢字	理由			
		和	和気あいあいの和。互いの個性を尊重し合える雰囲気。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	メンバーの自主性を活かし、のびのびと活動しているところ				
12	担当職員数	3				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館 (図書学術情報企画グループ、図書学術情報普及グループ)				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	無				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	無償				



1	大学名	広島工業大学				
2	団体名	広島工業大学附属図書館				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		11人	男子：9人 女子：2人	M1:5人 M2:6人	大学院 工学系研究科	学部生：0人 院生：11人
4	新規メンバー募集(獲得)方法	教員からの推薦				
5	活動開始年(西暦)	2011年				
6	活動頻度	授業期… 月～金 15～21時 / 土 12:30～16:30				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	レファレンス・配架・書架整理・カウンター業務・展示企画				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	①工大らしさと図書館改善を学生目線で考えた理想の自習室の模型製作 講習 ③オープンキャンパスでの学生アドバイザー紹介				②CAD
9	団体の雰囲気	上下関係が厳しくなく、気軽に話ができる雰囲気				
10	団体を漢字一文字で表すと？(理由も添えて)	漢字	理由			
		知	大学院ならではの知恵を集結させられる			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	様々な学科の人がいるため、短所を補い合い、長所を活かし合うことができる				
12	担当職員数	2名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館閲覧担当				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	有り				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	有償				



1	大学名	広島修道大学				
2	団体名	図書館ピア・サポーター				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		16	男：7 女：9	2年生：3 3年生：7 4年生：6	人文学部：6 法学部：5 経済科学部：2 人間環境学部：3	学部生：16
4	新規メンバー募集(獲得)方法	学内で公募し、応募書類と面接で選考				
5	活動開始年(西暦)	2009年				
6	活動頻度	フロアサポート：授業期の平日11時～17時（シフト制） グループ活動：主にフロアサポートの時間 ピア・ミーティング（定例）：月2回 ピア・ミーティング（前後期開始前・振り返り）：年4回 研修：年4回				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	フロアサポート、ピア・ミーティング、研修、グループ活動				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	グループ活動				
9	団体の雰囲気	和気あいあい				
10	団体を漢字一文字で表すと？（理由も添えて）	漢字	理由			
		志	全員がピア・サポートの活動を通じて成長したいという志を持って活動しているため。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	どの学生もピアの活動に対するモチベーションが高いところ。				
12	担当職員数	4				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書課				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	有				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	有償だが、フロアサポート以外の時間に取り組むグループ活動は無償				



1	大学名	福山大学				
2	団体名	図書館倶楽部				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		21名	男 6名 女 15名	1年 1名 2年 5名 3年 10名 4年 5名	人間文化学部 20名 生命工学部 1名	学部生 21名
4	新規メンバー募集(獲得)方法	新入生オリエンテーションによる勧誘、ポスター掲示による募集				
5	活動開始年(西暦)	2014年				
6	活動頻度	週一回ミーティングをしています				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	全国大学ビブリオバトル 中国 ブロック地区決戦 予選会開催 図書館情報フリーペーパー：LibraryNews 発行(年2~4号ペース)				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	私立大学図書館協会西地区部会総会 補助 本の紹介発表会 学内ブックハンティング企画「福ぶくろ書店」				
9	団体の雰囲気	自然と上級生がリードしてくれる、下級生も意見を出しやすい				
10	団体を漢字一文字で表すと？(理由も添えて)	漢字	理由			
		歩	一步一步、自分たちのペースで運営しているので。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	メンバーがデザインしたゆるキャラがいる(しおっぺ)				
12	担当職員数	1名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館 発注・受入係				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	有：学生協働交流シンポジウム参加のための予算				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	無償				



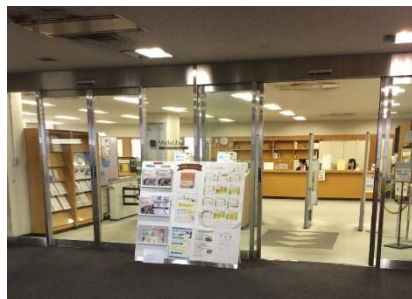
1	大学名	松山大学				
2	団体名	図書館学生アドバイザースタッフ (C3)				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		38人	男15人 女23人	1年3人 2年12人 3年7人 4年12人	経済8人 経営3人 人英3人 人社10人 法5人 薬0人	
4	新規メンバー募集(獲得)方法	大学サークルサイト、サークル紹介雑誌、新入生を対象とした図書館案内の際に紹介				
5	活動開始年(西暦)	2008年				
6	活動頻度	週に1回				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	ブックハンティング・オープンキャンパス案内・高校生訪問時の図書館案内・ビブリオバトルスタッフ・POP作り・図書館新聞作り・掲示物作成				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	ブックハンティング・POP作り				
9	団体の雰囲気	自由				
10	団体を漢字一文字で表すと? (理由も添えて)	漢字	理由			
		楽	みんなが楽しくリラックスして活動しているから			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です!)	毎回熱心に参加してくれていること。みんな仲がいい。なにかを頼むとしっかりやり遂げてくれる(内容把握できている)				
12	担当職員数	2名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館情報サービス課				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	無				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	無償				



1	大学名	山口大学				
2	団体名	山口大学総合図書館学生協働				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		43	男：8名 女：35名	1年：9名 2年：11名 3年：9名 4年：12名 M1年：1名 M2年：1名	人文：28名 理：6名 教育：1名 農：1名 経済：4名 共同獣医：1名 創成科学研究科：1名 教育学研究科：1名	学部生：41名 院生：2名
4	新規メンバー募集(獲得)方法	図書館内、学内でポスター等により募集をし、説明会を行い活動を知った上で選抜				
5	活動開始年(西暦)	2006年				
6	活動頻度	カウンター業務毎日(土日以外)・各WG活動随時・月1回の定例会				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	業務サポート(カウンター/蔵書点検など) 図書館サービス向上のためのWG活動				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	WG活動 新たな活動への挑戦(読書会・貸出袋作成・留学生用の掲示の作成等) 活動活発化の話し合い				
9	団体の雰囲気	アットホームな団体です。和気あいあいとしてにぎやかで、学年関係なくみんな仲が良かったです。				
10	団体を漢字一文字で表すと? (理由も添えて)	漢字	理由			
		裕	常に進化し、学年関係なくみんな仲良しで、助け合って活動しているから			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です!)	普段は仲良しだけどぶつかることを恐れず、メリハリのある団体です。業務中困ったことがあっても先輩も職員さんも優しく丁寧に対応してくれます。				
12	担当職員数	4人				
13	担当職員の学内での所属(図書館がそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館(学術情報課利用者サービス係・情報サービス係)				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	有				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	カウンター業務、業務サポートは有償、WG活動は無償				



1	大学名	山口大学				
2	団体名	工学部図書館学生協働				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		8人	男：6人 女：2人	4年：6人 2年：2人	工学部：8人	学部学生：8人
4	新規メンバー募集(獲得)方法	主に学生協働メンバーの紹介				
5	活動開始年(西暦)	2015年				
6	活動頻度	週1～2回程度				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	カウンター業務、蔵書点検、講習会補助、図書館案内 等				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	バスツアー（山口県内の図書館を巡って、展示を見たり、働くことについての話を伺ったりすることにより、図書館職員の方々との交流を深めた。）				
9	団体の雰囲気	学生と職員との距離感が近く、アットホームな雰囲気				
10	団体を漢字一文字で表すと？（理由も添えて）	漢字	理由			
		和	チームワークはもちろんのこと、全体的に和やかな雰囲気があり、非常に和が取れているから。			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です！)	一人一人が積極的に意見を出して、他人の意見も尊重して、全員が納得するような答えを出すところ！				
12	担当職員数	5人				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館(学術情報課工学情報係)				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	有				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	カウンター業務、蔵書点検 等：有償 学生による自主企画：無償				



1	大学名	立命館大学 (びわこ・くさつキャンパス)				
2	団体名	学生ライブラリースタッフ				
3	構成	人数合計	男女内訳	学年内訳	学部内訳	学部生・ 院生内訳
		52	男 29 女 23	2年生15 3年生14 4年生16 5年生1 6年生1 M1年生1 M2年生4		
4	新規メンバー募集(獲得)方法	年に1度、学内に向けて募集の広報を行い、職員が応募書類選考・面接選考を実施				
5	活動開始年(西暦)	2001年				
6	活動頻度	各館の休館日を除き毎日				
7	活動内容 (毎年行っている活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・排架 ・書架整理 ・利用者支援 (館内利用案内・情報検索支援) ・図書紹介プロジェクト (おすすめ本の紹介) ・広報プロジェクト (館内掲示物等の作成) ・HPプロジェクト (学外へFacebookで情報発信) ・研修・見極めプロジェクト (新人育成) 				
8	活動内容 (最近3年以内で特に力を入れた活動)	<ul style="list-style-type: none"> ・意見交換ノートの運用 (スタッフ間でコミュニケーションをとる工夫) ・オリジナルブックカバーの作成 ・ホームページからフェイスブックへ移行しての情報発信 				
9	団体の雰囲気	大人数ながら温和				
10	団体を漢字一文字で表すと? (理由も添えて)	漢字	理由			
11	団体自慢 (こんなところが自慢です!)	ひたむきに業務に取り組んでいるところ				
12	担当職員数	5名				
13	担当職員の学内での所属(図書館かそれ以外か。図書館の場合は所属部署・チーム)	図書館利用支援課 (BKC)				
14	※学生協働に関して： 予算の有無	有				
15	※学生協働に関して： 有償か無償か	有償				

第7回大学図書館学生協働交流シンポジウム パンフレット

図書館がきりひらく航路^{ミライ}
－悩み解決・つながり強化－

平成29年9月5日 発行

発行 愛媛大学図書館
〒790-8577
愛媛県松山市文京町3
TEL 089-927-8835(代表)
FAX 089-927-8847
HP <http://www.lib.ehime-u.ac.jp/>

